

海軍公報

第千八百七號

○ 雜 款

○ 出發

海軍艦政本部造兵監督官海軍少佐武節俊二郎ハ來二月二十三日午後三時横濱出帆日枝丸ニテ出發ノ豫定

○ 改姓

海軍大尉關野武夫ハ神田ト改姓ノ旨去月二十八日届出デタリ

昭和八年二月二十日(月)

海軍大臣官房

海軍公報 第千八百七號 昭和八年二月二十日

一五三

1670

○艦船所在

▲印ハハホフ
指定ヲ要セズ

○二月二十日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城、長門、赤城、北上、比叡、
木曾、春日、八雲、磐手、
櫻、椿、野風、波風、沙風、島風、灘風、
夕風

伊二三

掃一、掃四

富士▲、尻矢、膠州、大和、青島、隱戸、
知床

【長浦】

巖島 (龍驤)
桑、楨、神風、沼風、電、雷、曉、
漣、狹霧

呂二〇、呂二一、呂二二、呂五五、
呂五四、呂五六、呂五九、呂五七、
呂五八、伊一、伊二、伊四、伊三、
伊二四

伊二四
掃六、掃二、掃三、掃五

【石川島】

春風▲

【横濱】

松風▲

【浦賀】

(子日)

大湊、秋風、羽風、太刀風、帆風

【吳】

扶桑▲、矢矧、古鷹、淺間、淀、伊勢、
妙高、那智、那珂、長鯨、鬼怒、韓崎、
江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、
綾波、浦波、敷波、磯波、吹雪、薄雲▲、
藤、薄、葛、萩

呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、
呂一九、呂二八、呂二六、呂二七、
呂五三、呂五一、呂六五、呂六六、
呂六七、伊五、伊二二、伊二一、
伊五二、伊五一

掃七、掃八、掃九、掃一〇
劍崎、石廊、攝津、朝日

【大坂】

【神戸】

【舞鶴】

【宮津】

【佐世保】

夕顔、葵、菊
長良、川内▲、足柄、羽黒、霧島▲、八重山、
龍田
夕風、朝風、追風、疾風、竹、樵、梨、
栗、榎▲、楡、柿▲
呂二三、呂二四、呂二五、呂六三、
呂六四、呂六八、呂二九、呂三〇、

海軍公報

第千八百八號

昭和八年二月二十一日(火)
海軍大臣官房

○令 達

官房第七四六號
昭和八年二月二十一日
滿洲國在勤大使館附武官ニ支給スル在勤加俸ノ
間年額三千八百圓トス

海軍大臣

官房第七四七號
大正七年官房第一三〇五號海軍飲料水検査手續ヲ左ノ
通改正ス
昭和八年二月二十一日

海軍大臣

海軍飲料水検査手續
第一條 本手續ハ艦船部隊其ノ他各部ニ於テ備付ノ檢
水具ヲ以テ飲料水ヲ検査スル方法及標準ヲ規定ス
第二條 検査方法ハ左ノ各號ニ依ルベシ
一、外狀、檢水「コルベン」ニ充タシ白板及黑板

海軍公報 第千八百八號 昭和八年二月二十一日

一五七

上ニ於テ上方ヨリ透視シ其ノ清濁及色相ヲ檢ス
ベシ
二、臭味、檢水約五〇ccヲ清淨セル「コルベン」ニ
取リ微ニ溫メ振盪シテ其ノ臭味ヲ檢スベシ
三、反應、檢水一〇ccヲ清淨セル試験管ニ取リ「リ
トマス液」一滴ヲ混和シ檢スベシ反應アルカリ性
ナルトキハ藍色ヲ、中性ナルトキハ紫藍色ヲ、
酸性ナルトキハ赤色ヲ呈ス
四、アンモニア、檢水一〇ccヲ清淨セル試験管ニ取
リ之ニ炭酸カリ液一滴ヲ加ヘ能ク混和シ暫時放
置スルニ變化ヲ呈セザルトキハ之ニ「ネスレル
試薬」三滴ヲ混和スベシ此ノ際アンモニアヲ存
スレバ其ノ多少ニ依リ微黃色乃至赤褐色ヲ呈シ
著シク多量ナルトキハ赤褐色ノ沈澱ヲ生ズ
前項炭酸カリ液ヲ加ヘタル際沈澱ヲ生ジタルト
キハ更ニ檢水二〇ccヲ他ノ試験管ニ取リ炭酸カ
リ液二滴ヲ加ヘ能ク混和シ暫時放置シタル後其

1673

ノ上澄液ヲ傾取シ之ニ「ネスレル試薬」ヲ加ヘ検査スベシ

五、重金属、檢水一〇ccヲ清淨セル試験管ニ取り硫化水素水一ccヲ混和シテ暫時放置スルニ重金属存在スルトキハ其ノ多少ニ依リテ變色シ或ハ沈澱ヲ生ズ

六、亞硝酸、檢水一〇ccヲ清淨セル試験管ニ取り稀硫酸一滴ヲ加ヘテ酸性ト爲シ之ニ「ヨード亞鉛澱粉液」一〇滴ヲ混和スルニ亞硝酸存在スルトキハ其ノ多少ニ依リ直ニ若ハ暫時ノ後微藍色乃至深藍色ヲ呈ス、此ノ試験ハ成ルベク遮光シ且五分時間以内ニ發現スル藍色ヲ以テ亞硝酸ノ反應トスベシ

七、塩素、檢水五〇ccヲ清淨セル「コルベン」ニ取り「クロム酸カリ液」三滴ヲ加ヘ動搖シツツ「ピュレット」ヲ用ヒ硝酸銀液ヲ徐々ニ滴加シ消失セザル微類赤色ヲ呈スルニ至ルベシ茲ニ消費シタル硝酸銀液ノ度目數ハ檢水一〇cc中ニ存スル塩素ノmg量ニ相當ス、例之硝酸銀液ノ一、二ccヲ消費シタルトキハ檢水一〇cc中ニ塩素ノ一、二mgヲ含有スルガ如シ

八、有機物、檢水五〇ccヲ清淨セル「コルベン」ニ取り稀硫酸一〇cc及過マンガン酸カリ液一ccヲ混和シ五分時間煮沸スルニ全ク脱色セルトキハ有機物ノ多量ヲ含有スル證ニシテ之ヲ多量トス此ノ際猶赤色ヲ殘留スルトキハ更ニ檢水五〇ccヲ「コルベン」ニ取り稀硫酸一〇cc及過マンガン酸カリ液一〇ccヲ混和シ五分時間煮沸スベシ茲ニ全ク脱色セルトキハ中量トシ猶赤色ヲ殘留スルトキハ其ノ色相ノ程度ニ依リ少量又ハ僅微トス此ノ際過マンガン酸カリ液一ccハ檢水一〇ccニ對シ過マンガン酸カリ液一〇mg、五ccハ五mgノ消費ニ相當ス

九、硝酸、檢水一〇ccヲ清淨セル試験管ニ取り硫酸二ccヲ混和シ冷却シタル後之ニ「ブルシン」一小匙ヲ混和スルニ硝酸存在スルトキハ其ノ多少ニ依リ淡紅色乃至深紅色ヲ呈ス之ヲ硝酸標準器ニ比較シテ濃色ナルトキハ多量トシ近似セルトキハ中量トシ淡色ナルトキハ少量又ハ僅微トス

十、硫酸、檢水一〇ccヲ清淨セル試験管ニ取り塩化バリウム液一〇滴ヲ混和スルニ硫酸存在スルトキハ其ノ多少ニ依リ直ニ若ハ暫時ノ後白色ノ沈澱ヲ生ズ

一、澄明無色無臭ニシテ異味ヲ有スベカラズ 二、反應中性ナルベシ但シ弱酸性又ハ弱アルカリ性 ノモノハ飲用ニ供スルコトヲ得 三、アンモニウムヲ含有スベカラズ 四、亞硝酸ヲ含有スベカラズ 五、重金屬ヲ含有スベカラズ 六、多量ノ有機物(一リニ付過マンガン酸カリ)ノ消 費量一〇mgヲ超過スルモノヲ含有スベカラズ 七、塩素ハ一リ中三〇mgヲ超過スベカラズ	八、多量ノ硝酸(一リ中二〇mgヲ超過スルモ ノ)ヲ含有スベカラズ 九、多量ノ硫酸(一リ中二〇mgヲ超過スル モノ)ヲ含有スベカラズ 十、多量ノ石灰(一リ中一八〇mgヲ超過スル モノ)ヲ含有スベカラズ
第三條 飲料水ノ適否ハ其ノ水源ノ位置、周圍ノ關係、 地質ノ狀況、水船、水槽等ノ構造、品質等ニ注意シ 左ノ各號ニ依リ之ヲ判定ス 一、澄明無色無臭ニシテ異味ヲ有スベカラズ 二、反應中性ナルベシ但シ弱酸性又ハ弱アルカリ性 ノモノハ飲用ニ供スルコトヲ得 三、アンモニウムヲ含有スベカラズ 四、亞硝酸ヲ含有スベカラズ 五、重金屬ヲ含有スベカラズ 六、多量ノ有機物(一リニ付過マンガン酸カリ)ノ消 費量一〇mgヲ超過スルモノヲ含有スベカラズ 七、塩素ハ一リ中三〇mgヲ超過スベカラズ	第四條 前條第一號並ニ第六號以下各號ノ規定ニ適合 セザル水ト雖モ其ノ水源等清潔ト認ムル場合ニハ軍 醫科士官ノ見込ニ依リ其ノ程度著シカラザルモノニ 限リ適當ナル濾過法ヲ行ヒ又ハ煮沸シタル後飲用ニ 供スルコトヲ得 附 則 本號ハ昭和八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス ○ 通 牒 艦本第一七九二號 昭和八年二月二十一日 海軍 艦政本部 長 關係各廳長殿 潜水艦主水罐ノ塗換ニ關スル件通牒

1675

明治三十六年艦本第二八四號申進艦船塗裝分擔區別第六項ノ次ニ左記ヲ追加ス

記

七、潜水艦ノ特定修理、定例検査及大修理時ニ於ケル主水罐ノ塗換ハ検査ノ上工廠ニ於テ施行スルコト

(海軍艦政法規集第一五一頁参照)

○ 辭 令

○昭和八年二月二十一日

任海軍技手

給月俸六拾圓

諫 山 林

海軍大佐 村 上 佐

特別俸ヲ賜フ(海軍省)

免兼官

海軍書記兼海軍屬 田 中 義 雄

海軍艦政本部造船兵監督書記

海軍書記 田 中 徳 五 郎

海軍艦政本部附ヲ命ス

海軍艦政本部附同

田 中 義 雄

吳海軍工廠附ヲ命ス

吳海軍工廠總務部ニ於ケル事變關係業務ヲ囑託ス
但報酬月額八拾五圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

佐世保海軍工廠職工教習所教員囑託

栗 林 三 郎

兼練習艦隊幕僚事務ヲ囑託ス

但部内限奏任官待遇トス

自今報酬月額四百圓ヲ給ス

練習艦隊ニ於ケル齒科治療囑託 青 木 厩 雄

自今報酬月額參百五拾圓ヲ給ス(以上三同)

海軍技手 諫 山 林

横須賀海軍建築部勤務ヲ命ス(三同)

○ 雜 款

○海軍航空本部監督官異動

出張 地方	職	官 氏 名
東京	海軍航空本部造兵監督官	海軍大佐 飯 介 貞 造
名古屋	海軍航空本部造兵監督官兼 (首座) 海軍艦政本部造船兵監督官	海軍中佐 山 本 順 平

1676

○内地ヨリ揚子江流域方面へノ郵便物發送取扱ニ關スル件通知
 揚子江流域派遣艦船部隊並ニ勤務員ニ宛内地ヨリ發送スル通常郵便物及小包郵便物ハ總テ軍事郵便トシテ取扱ハレ居ルニ不拘近來郵便物表記記載方不備ノ爲軍事郵便ノ取扱トナラズ日華郵便トシテ直接中國郵政局ノ手ニ渡リ配達遲延又ハ不達等ノ事故有之候ニ就テハ自今此ノ種事故防止ノ爲左記事項一般ニ周知セシムル様御取計相成度

記

一、表面ノ書き方

イ、宛 先

佐世保郵便局氣付

艦船部隊名

何 某 殿

ロ、指 定

公私用共「軍事郵便」ト朱書ノコト
 公用ニハ「公用」ト朱書ノコト

二、料 金

イ、通常郵便物

國內料金ト同ジ

ロ、小包郵便物

日滿小包トシテ取扱料金左ノ如シ

五百瓦迄	一庇迄	二庇迄	三庇迄	四庇迄	五庇迄	六庇迄
四十二錢	四十九錢	六十二錢	七十五錢	八十八錢	九十四錢	一回

(第三艦隊副官)

○艦船所在

▲印「ハ」ハ「ホ」ノ
指定ヲ要セズ

○二月二十一日午前十時調

【横須賀】

日進、山城、長門、赤城、北上、比叡、
木曾、春日、八雲、磐手、
樺、椿、野風、波風、沙風、島風、灘風、
夕風

伊二三

掃一、掃四

富士、尻矢、膠州、大和、青島、知床、洲埼

(龍驤)

【長浦】

嚴島

桑、榎、神風、沼風、電、雷、曉、
漣、狹霧

呂二〇、呂二一、呂二二、呂五五、
呂五四、呂五六、呂五九、呂五七、
呂五八、伊一、伊二、伊四、伊三、
伊二四

伊六、掃二、掃三、掃五

【石川島】

春風

【横濱】

松風

【浦賀】

(子日)

【大湊】

秋風、羽風、太刀風、帆風

【室蘭】

大泊

【吳】

扶桑、矢矧、古鷹、淺間、淀、伊勢、
妙高、那智、那珂、長鯨、鬼怒、韓崎、
江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、
綾波、浦波、敷波、磯波、吹雪、薄雲、
藤、萩、薄、葛

呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、
呂一九、呂二八、呂二六、呂二七、
呂五三、呂五一、呂六五、呂六六、
呂六七、伊五、伊二二、伊二一、
伊五二、伊五一

掃七、掃八、掃九、掃一〇
劍埼、石廊、攝津、朝日

【大阪】

旗風、朝風

【神戸】

大井

【宇和島】

島海、摩耶、愛宕、高雄、青葉、衣笠、
加古、神通、球磨

潮、朧、曙、天霧、朝霧、夕霧、深雪、
白雪、初雪、白雲、叢雲、東雲、
伊五三、伊五四、伊五五、伊五六、
伊五七、伊五八

能登呂、鳴戸

【別府】

阿武隈、由良、名取、迅鯨、加賀、鳳翔

沖風、矢風、澤風、峯風

伊六三、伊五九、伊六〇、伊六七、
伊六五、伊六六

【白杵】鶴見、間宮	【佐伯】勝力	【舞鶴】白鷺	【舞鶴】吾妻、多摩	【舞鶴】呂三一	(響)	【宮津】夕顔、葵、菊	【佐世保】長良、川内、足柄、羽黒、霧島、八重山、龍田	【夕風】朝風、追風、疾風、竹、樵、梨	【栗、榊、楡、柿】	【呂二三】呂二四、呂二五、呂六三、呂六四、呂六八、呂二九、呂三〇、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、伊六一、伊六四	【伊六二】伊六一、伊六四	【敷島】早瀬、佐多	【有明灣】陸奥、榛名、金剛、日向、夕張	【水無月】皐月、文月、長月、夕月、菊月、三月月、望月、卯月、睦月、如月、彌生	【馬公】吳竹、若竹	【作業地】駒橋	【早瀬】	【鎮海】蓬、蓮、蓼	【旅順】劉蓋	【秦皇島】芙蓉、朝顔		
【青島】平戸	【上海】鳥羽、勢多	【舟山】天龍	【鎮江】浦風	【南京】熱海	【蕪湖】比良	【九江】桃、柳	【大冶】伏見	【漢口】二見	【長沙】宇治	【宜昌】安宅、對馬	【廣東】保津	【廣東】嵯峨	【航海中】	【摩田】(八日上海發—宜昌へ)	【神威】(十七日馬公發—上海發—揚子江外へ)	【常磐】(十八日佐世保發—タラカンへ)	【出雲】(二十日上海發—揚子江外へ)	【五十鈴】(二十日馬公發—秦皇島へ)	【早瀬】(二十日馬公發—油頭へ)	【室戸】(二十日馬公發—青島へ)	【野島】(二十日佐世保發—吳へ)	【隱戸】(二十一日横須賀發—吳へ)

(部内限二頁、同號外一頁)

1679

海軍公報 第千八百九號

昭和八年二月二十二日(水)
海軍大臣官房

○通牒

軍務二第七二號

昭和八年二月二十二日

海軍省軍務局長

吳鎮守府 參謀長殿
第一、第二艦隊

外國船内地不開港場寄港ノ件通牒

外國船内地不開港場寄港出願ニ對シ今般左記ノ通免狀
交付相成候

第一一三號

免狀

- 一 船名 エンプレス、オブ、ブリテン號
- 一 國籍 英國
- 一 種類 汽船
- 一 船主氏名及國籍 英國 加奈陀太平洋鐵道會社

海軍公報 第千八百九號 昭和八年二月二十二日

(裏面)

航行心得

- 一 本船ハ帝國法令條約ヲ遵守スルハ勿論表面記載ノ港ニ於テ警察規則及各種港則ヲ遵守スベシ
- 二 本免狀ハ何時タリトモ當該官吏ノ求メニ應ジ共ノ檢査ヲ受クベシ
- 三 本船ハ本免狀記載ノ目的外ニ使用スベカラズ

遞信大臣

- 一 船長氏名及國籍 英國人 アール、ジ、ラッター
- 一 總噸數 四二、三四八噸
- 一 寄港ノ目的 觀光
- 一 寄港地名 大分縣別府
- 右不開港場ニ寄港スルコトヲ特許ス

本免狀有效期間ハ昭和八年二月二十五日ヨリ昭和八年三月一日迄トス但シ必要ノ節ハ同期間内ト雖モ其ノ寄港ヲ差止ムルコトアルベシ
昭和八年二月十日

1680

○ 雜 款

○特務艦室戸行動豫定

地名着

發

吳	橫	吳	德	佐	舞	吳
	須			世		
	賀		山	保	鶴	
三月十四日	三月十四日	十八日	二十日	二十三日	二十六日	三十日
三月十二日	十六日	二十日	二十二日	二十四日	二十八日	

○郵便物發送先

特務艦室戸宛

三月十一日迄	同十五日迄	同十九日迄
二到達見込ノモノハ	同	同
吳	橫須賀	吳

同	同	同	其ノ後ハ
二十一日迄	二十三日迄	二十七日迄	
同	同	同	

德佐舞
一世
山保鶴

○海軍艦政本部監督官異動

職	官	氏	名
---	---	---	---

海軍航空本部造兵監督官兼
海軍艦政本部造兵監督官

海軍中佐 山本 順平

○電話架設

海軍省醫務局員海軍軍醫大佐中野太郎（横濱市神奈川區反町五五）

横濱本局 六〇六二番

○滯在地變更

待命海軍軍醫少尉加藤政男ハ吳ヨリ横須賀ヘ滞在在地戀
更ノ儀昨二十一日認許セラレタリ

○國際聯盟新嘉坡保健部東局傳染病週報

ペ
ス
ト
コ
レ
ラ
瘡
痘

患者死者
鼠有菌
患者死者
患者死者

香
港

1. The first part of the document is a title page. It contains the title "THE HISTORY OF THE UNITED STATES OF AMERICA" and the author's name "BY JAMES MADISON".

1682

アレキサンドリア	ペイルト	パスラ	カラチ	孟買	コロンボ	ネガパタム	マドラス	カルカッタ	バセイ	蘭	モールメ	盤谷	マカオ	廣東
					四							一		
				一一	二				一					
								一四						
								八						
三〇二	六	二	八	三三三	一八	一	一二七	三三三	二	一	一		二	八一
五二			二八	一六四	六		二四	二六三					二	

海軍公報

第千八百九號

昭和八年二月二十二日

一六七

○艦船所在

▲印ハハカリ
指定ヲ要セズ

○二月二十二日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城、長門、赤城、北上、比叡、

木曾、春日、▽八雲、磐手

櫻、椿、野風、波風、▽汐風、島風、灘風、

夕風

伊二三

掃一、掃四

富士▲、尻矢、膠州、大和、青島、知床、洲埼

(龍驤)

【長浦】

嚴島

桑、楨、▽神風、沼風、▽電、雷、▽曉、

漣、狹霧

呂二〇、呂二一、呂二二、▽呂五五、

呂五四、呂五六、▽呂五九、呂五七、

呂五八、▽伊一、伊二、▽伊四、伊三、

▽伊二四

▽掃六、掃二、掃三、掃五

【石川島】

春風▲

【横濱】

松風▲

【浦賀】

(子日)

【大湊】

秋風、羽風、太刀風、帆風

【室蘭】

大泊

【吳】

扶桑▲、矢矧、古鷹、淺間、淀、伊勢、

妙高、那智、那珂、長鯨、鬼怒

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

▽綾波、浦波、敷波、▽磯波、吹雪、薄雲▲

呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、

呂一九、▽呂二八、呂二六、呂二七、

▽呂五三、呂五一、▽呂六五、呂六六、

呂六七、伊五、▽伊二二、伊二一、

▽伊五二、伊五一

掃七、掃八、掃九、掃一〇

劍埼、石廊、攝津、朝日、野島

【大阪】

旗風▲、朝風▲

【神戸】

大井▲

【宇和島】

鳥海、摩耶、愛宕、高雄、▽青葉、衣笠、

加古、▽神通、▽球磨

▽潮、瀧、曙、▽天霧、朝霧、夕霧、▽深雪、

白雪、初雪、▽白雲、叢雲、東雲

▽伊五三、伊五四、伊五五、▽伊五六、

伊五七、伊五八

【別府】

陸奥、▽榛名、金剛、日向、▽阿武隈、

由良、名取、▽夕張、▽迅鯨、▽加賀、鳳翔

▽水無月、阜月、文月、長月、▽夕月、菊月、

三日月、望月、▽卯月、睦月、如月、彌生、

▽沖風、矢風、澤風、峯風

1683

【宮津】	呂夕顔、葵、菊	【佐世保】	長良、川内、足柄、羽黒、霧島、八重山、龍田	呂夕風、朝風、追風、疾風、呂竹、樺、梨、栗、梅、榆、柿	呂二四、呂二五、呂六三、呂六四、呂六八、呂二九、呂三〇、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、伊六二、伊六一、伊六四	敷島、早鞠	【鎮海】	蓬、蓮、蓼	【旅順】	刈萱	【秦皇島】	常磐	【青島】	室戸	【上海】	鳥羽、勢多、浦風	伊六三、伊五九、伊六〇、伊六七、伊六五、伊六六	鶴見、間宮	勝力	【白杵】	白鷹	【佐伯】	吾妻	【舞鶴】	呂三一	（響）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				</
------	---------	-------	-----------------------	-----------------------------	---	-------	------	-------	------	----	-------	----	------	----	------	----------	-------------------------	-------	----	------	----	------	----	------	-----	-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

(附錄八頁、部内限て頁)

海軍公報 附録

昭和八年二月二十二日(水)
海軍大臣官房

○ 雜 款

○ 圖書

去ル一月中納庫セル圖書左ノ如シ(海軍文庫)

和漢書ノ部

A〇〇〇 兵 書

帝國々難論 衣斐鈔吉著 昭和五 東京 目白書院

八六二

打開か興亡の此一戦 海軍大佐 水野廣徳著 昭和七

八三九六

米國武官の見たる 日米未來戦 米ワイールヂング、エリオット原著

海軍大佐 廣瀬彦太撰述 昭和五 東京 有終會

八四三五

A二〇〇 戰 備

米國の太平洋戰備 中村秋季著 昭和七 東京 新生堂

八三九〇

A二二〇 國 防

國防原論 海軍大佐 佐藤六平著 昭和五 東京 兵用圖書株式會社

八四三四

A三三〇 軍事工業、軍需、補給

平時工業動員 内外資料調査會編 昭和七

P二四三
P二四四

A五六一 航海圖表

昭和八年 潮汐表 中央氣象臺編 昭和七

P二七七

東洋燈臺表 水路部編 昭和七

P二四五

A五六二 航海報告

練習船進德丸航海報告(自第十一次遠洋航海至第十五次遠洋航海) 自 P二二〇
神戶高等商船學校編 昭和五、六 P二二一
練習船海王丸航海報告 第一輯(自昭和五年度第一次短期航海至同第三次短期航海) 自 P二〇八
航海練習所編 P二〇九練習船日本丸航海報告 第一輯(自昭和五年度第一次短期航海至同第三次短期航海) 自 P二〇五
航海練習所編 P二〇六東京高等商船學校編 自昭和四一至昭和六 至 P二〇九
練習船大成丸(自第三十九次遠洋航海報告至第四十三次遠洋航海報告) 自 P二〇六

東京高等商船學校編 自昭和四一至昭和六 至 P二〇九

A五七一 航空圖表

昭和八年 航空年表 水路部編 昭和七 P二〇六

昭和八年 太陽位置表(航空年表附録) 水路部編 昭和七 P二〇七

昭和八年 太陰位置表(航空年表附録) 水路部編 昭和七 P二〇八

C二〇〇 陸軍 帝國及列國の陸軍 昭和八年版 陸軍省編 P二四六	C三〇〇 航空 航空要覽 昭和七年版 逓信省航空局編 昭和七 P一〇五 主要各國民間航空輸送事業概要 逓信省航空局編 昭和七 P一〇八	C四一〇 水路誌 朝鮮沿岸水路誌 (第一卷) 水路部編 昭和八 八四一 北海道樺太南部沿岸水路誌 (第一卷) 水路部編 昭和七 P二四六 九州沿岸水路誌 追補第二 水路部編 昭和七 P二四七	D四一〇 日本陸戰史 滿洲事變實誌 日東書院編 昭和七 東京 日東書院 八三九 上海事變の經過 (世界知識増刊) 新光社編 昭和七 八三八 滿洲事變の經過 (世界知識増刊) 新光社編 昭和七 八三九	D六四〇 傳記、逸話、美談 廿一大先覺記者傳 大阪毎日新聞社編 昭和五 八四六 田中近江大塚 田中近江翁顯彰會編 昭和六 八四三	E一〇〇 外交史 上海事件外交史 附滿洲建國始末 樺原茂樹 柏正彦共著 昭和七 東京 金港堂書籍株式會社 自八四七 至八四三	E三三〇 國際聯盟
リットン報告書全文解剖 神田正雄著 昭和七 八四九 國際聯盟規約論 立作太郎著 昭和七 至八四二 日支時局と國際聯盟 山川鶴夫著 昭和七 自八四三 至八四六 滿洲國獨立と國際聯盟 浮田和民著 昭和七 自八四九 至八五三 國際聯盟調査團ノ報告書ハ何ヲ物語ルヤ 滿洲國 飽觀澄述 昭和七 P一〇三	E三七〇 戰爭ノ問題 日米戰ふ可きか (世界知識増刊) 新光社編 昭和七 八四〇 E三八一 各國ノ問題—日本 滿蒙特殊權益論 信夫淳平著 昭和七 至八四二 日本モンロー主義と滿洲 金子堅太郎著 昭和七 P一〇四 滿洲に於ける日本の特殊地位 拓務大臣官房文書課編 昭和七 P一〇五	E二七一 法令集—外國法令 蘭領東印度ニ於ケル農企業及入國關係法規 外務省通商局第三課編 昭和七 P一〇三 H〇〇〇 産業、統計 (一般) 小樽海港博覽會誌 小樽商工會議所編 昭和七 八四〇	H一〇〇 産業			

産業之日本 タイムス社編 大正十五 東京タイムス社	四〇三
II-〇一 産業ニ關スル問題 營業費の豫算作成に就いて 東京商工會議所編 昭和七	P-〇九〇
II-〇二 工場、事務、能率、賃金 昭和六年 兵庫縣工場一覽 兵庫縣内務部統計課編 昭和七	P-〇七八
II-〇三 農 業 「ベネスエラ」國農產業狀況 外務省通商局第三課編 昭和七	P-〇八三
米國南加州在留邦人の農業 外務省通商局第三課編 昭和七	P-〇八四
II-〇四 山 林 日本林制史資料 仙臺藩 農林省編 昭和七 東京朝陽會	八四〇
II-〇五 商業・貿易 米比間自由通商貿易問題と比律賓群島 國際貿易の趨勢に就いて 橫濱正金銀行頭取席調查課編 昭和七	P-〇七六
II-〇六 統計 明治三年 農林省統計關係法規輯覽 以降 農林省統計課編 昭和七 東京 東京統計協會 農林大臣官房統計課編	P-〇八八
II-〇七 統計諸表 昭和六年 中華民國外國貿易統計表 第二卷 東京商工會議所編 昭和七	P-〇九一
昭和六年 中華民國外國貿易各港別統計表 第三卷 東京商工會議所編 昭和八	P-二二五
昭和六年 鐵道統計資料 第一輯 鐵道省編 昭和七	P-〇九九
II-二三 年鑑、年報等 自昭和六年一月 帝國博物館年報 帝國博物館編 至 同十二年 帝國統計局年報 帝國統計局編 昭和七	八三八 八八七
第五回 日本帝國統計年鑑 內閣統計局編 昭和七	八四七
昭和六年 鐵道省年報 鐵道省編 昭和七	P-二一〇
昭和八年 國勢グラフ (附錄列國國勢年鑑) 一月號 國勢局編 昭和八	P-二〇三
昭和六年 造幣局長第五十八年報告書 造幣局編 昭和七	P-二二六
帝國議會年鑑 昭和七年版 時事新報社政治部編 昭和七 東京 九ノ内出版社	P-二二八 P-二二九
I-七〇 日本地誌—事情 昭和八年 朝鮮要覽 朝鮮總督府編 昭和七	八三九 八三九
南洋群島要覽 昭和七年版 南洋廳編 昭和七	八四四
I-三二〇 亞細亞地誌—滿蒙 滿洲國中心支那地理 西島正夫著 東京 厚生閣書店 昭和七	自八四一 至八四六
I-三八〇 亞細亞地誌—事情 滿洲國の解剖 (世界知識叢刊) 新光社編 東京 新栄社 昭和七	八四〇

英領北「ボルネオ」事情 外務省通商局編 昭和七	P 一〇八
I 四八〇 西洋地誌—事情 上原敬三著 昭和七	八三九五
日本の楔點ハワイ 東京 先進社	
秘露國森林地帶事情 外務省通商局編 昭和七	P 一〇八
I 五五〇 紀行—航海	
高松宮殿下御遠航記草案	P 二四九
J 二二〇 物理學	
ビストンの運動に因つて起る渦に關する研究 共ノ一	P 二二四
下士 物理化學參考書 全 教育總監部編 昭和二	P 二二七
J 二三〇 天文學	
昭和七年曆 東京天文臺編	P 二二〇
星座行脚 (科學畫報附録) 仲摩照久編 昭和七	P 二〇一
J 三三二 工學—造船 東京 新井源水著 昭和五	八三〇五
J 三三四 工學—建築	
高等建築學 工場、市場、火力發電所 高橋貞太郎等共著 昭和七	八四〇六
高等建築學 地震學、構造物震動論 今村恒明共著 昭和八	八四〇七
東京帝國大學五十年史 上、下卷 東京帝國大學編 昭和七	自八三八四 至八三八六
L 一〇〇 文 學	
作文參考書 陸軍士官學校編 昭和二	八四三三
L 一七〇 文學—隨筆	
戰爭、貿易、海賊 小林知治著 昭和七	八三九四
清き愛 第一編 内田德三郎著 昭和七	八三八八
M 〇二〇 地名、人名	
朝鮮總督府職員錄 (昭和五年七月一日現在) 朝鮮總督府編 昭和五	P 二〇三
洋書ノ部	
1. ENGLISH BOOKS.	
(A442. Lubricants)	
Lubricating Oil Test and Their Significance. by I. E. Southcombe, 1932, London, Henry Wells Oil Co.	8259
(A455. Compass)	
Admiralty Manual of the Sperry Gyro Compass 1931, 1931, London, His Majesty's Stationery Office.	8262

1688

(A460. Aviation) Blind Flight in Theory and Practice. by William C. Ocker & Carl J. Crane. 1932, San Antonio, Naylor Printing Co. 8240-8242	(140. Communication) Register. by A. C. Hardy. 1929, London, Sampson Low, Marston & Co. 8271
(C300. Aeronautics) International Air Guide. Vol. I & II. 1932, Paris, Imprimerie Créte S. A. 8216 Seventeenth Annual Report of the National Advisory Committee for Aeronautics 1931. 1932, Washington, Government Printing Office. 8268-8270 Aviation and the Aerodrome. by H. Angley Lewis-Dale, 1932, London, Charles Griffin & Co. 8277	The Admiralty List of Wireless Signals. Vol. II 1931. 1931, London, His Majesty's Stationery Office. 8263 The Admiralty List of Wireless Signals. Vol. I. 1932. 1932, London, His Majesty's Stationery Office. 8264 Admiralty Handbook of Wireless Telegraphy 1931. 1932, London, His Majesty's Stationery Office. 8267
(E226. Nation's Problem-Japan) Relations of Japan with Manchuria and Mongolia. Document B. 1932, 8275 (E330. Condition of Powers-China) The Present Condition of China. Document A. 1932. 8274	(H220. Yearbooks) Jane's Fighting Ships 1932. by Oscar Parkes. 1932, London, Sampson Low, Marston & Co. 8272, 8276 & 8278
(F107. Politics-China) Two Years of Nationalist China. by T. Z. Tyan, 1932, Shanghai, Kelly and Walsh. 8273	(J100. Mathematics-General) Vector Analysis with Applications to Physics. by Richard Gans, 1932, London, Blackie & Son. 8252
(H100. Industry-General) Motorships of the World and Motorshipping	(J100. Natural Science) The Technique of Ultra-Violet Radiology. by D. T. Harris, 1932, London Blackie & Son. 8251
(J218. Physics-Electricity)	

- | | | | |
|--|-------------|---|------|
| Induction Coil. Theory and Applications. by E. Taylor Jones, 1932, London, Sir Isaac Pitman & Sons. | S229 | Heckstall-Smith, 1931, London, J. M. Dent and Sons. | S256 |
| Hydrogen Ions. by Hubert T. S. Britton, 1931, London, Chapman & Hall. | S233 | Atmospheric Electricity. by B. F. J. Schouland. 1932, London, Methuen & Co. | S257 |
| The Theory of Electric and Magnetic Susceptibilities. by J. H. Van Vleck, 1932, Oxford, The Clarendon Press. | S236 | (J214. Physics-Wireless)
First Principles of Television. by A. Dinsdale, 1932, London, Chapman & Hall. | S230 |
| The Principles of Electromagnetism. by E. B. Moullin, 1932, Oxford, The Clarendon Press. | S237 | (J218. Physics-Sound)
The Prevention and Insulation of Noise. by E. G. Richardson. 1932, Newcastle-upon-Tyne. The National East Coast Institution. | S245 |
| Theory of Electricity and Magnetism. by Max Planck, tr. by Henry L. Brose, 1932, London, Macmillan & Co. | S246. | (J220. Chemistry-General)
A Text-Book of Physical Chemistry. Vol. I. by J. Newton Friend, 1930, London, Charles Griffin & Co. | S253 |
| Electrons and Waves. by H. Stanley Allen, 1932, London, Macmillan & Co. | S247 & S248 | Molecular Rays. by Ronald G. J. Fraser, 1931, Cambridge, The University Press. | S260 |
| Electronics. by Ralph Gorton Hindson, 1932. New York, John Wiley & Sons. | S249 | (J224. Chemistry-Metals)
Stainless Iron and Steel. by J. H. G. Monypenny, 1931, London, Chapman and Hall. | S234 |
| The Classical Theory of Electricity and Magnetism. by Max Abraham 1932, London, Blackie & Son. | S253 | (J300. Engineering-General)
Acoustical Engineering. by W. West, 1932, London, Sir Isaac Pitman & | |
| Dielectric Phenomena. III.-Breakdown of Solid Dielectrics. by S. Whitehead, 1932, London, Ernst Benn. | S254 | | |
| Intermediate Electrical Theory. by H. W. | | | |

Sons. Engineering Materials. Vol. II. by Arthur W. Judge, 1932, London, Sir Isaac Pitman & Sons. Engineering Training for Officer's Rank. 1930, Newcastle-upon-Tyne, The North East Institution. (J310. Mechanical Engineering-General) Noise and Vibration Engineering. by Stephen E. Slooam, 1931, New York, D. Van Nostrand Co. Modern Materials Handling. by Simeon J. Kookin, 1932, New York, John Wiley & Sons. (J317. Mechanical Engineering-Shipbuilding) Some Measurements of Ship Vibration. by F. H. Todd, 1932, Newcastle-upon-Tyne, The North East Coast Institution. (J320. Electrical Engineering-General) Electrical Machinery and Apparatus Manufacture. Vol. III-VII. by Philip Kemp, 1932, London, Sir Isaac Pitman & Sons. The Elements of Switchgear Design. by Fritz Kesselring, 1932, London, Sir Isaac Pitman & Sons. Meter Engineering. by J. L. Ferns, 1932, London, Sir Isaac Pitman & Sons. Experimental Electrical Engineering. by E. T. A. Rapson, 1932, London, Sir Isaac Pitman & Sons. Electrical Technology. by H. Cotton, 1932, London, Sir Isaac Pitman & Sons. Advanced Electrical Measurement. by William R. Smythe & Walter C. Nichols, 1932, New York, D. Van Nostrand Co. Textbook of Electrical Engineering 1930. 1931, London, His Majesty's Stationery Office. (J322. Electrical Engineering-Communication) Short Wave Wireless Communication. by A. W. Lader, 1932, London, Chapman & Hall. Testing Radio Sets. by J. H. Reyner, 1932, London, Chapman & Hall. Modern Radio Communication. by J. H. Reyner, London, Sir Isaac Pitman & Sons. Thermionic Emission. by W. S. Stiles, 1932, London, His Majesty's Stationery Office.	8226 & 8227 8228 8244 8239 8250 8243 8217-8221 8222 8223 8224 8225 8238 8261 8231 8232 8235
--	--

1692

Quartz Resonators and Oscillators. by P. Vigoureux, 1931, London, His Majesty's Stationery Office. 8266	dem Siemens-Konzern. XI. Band. 1932, Berlin Julius Springer. 1890
(J331. Chemical Engineering-Metal) The Heat-Treatment and Annealing of Aluminium and Its Alloys. by N. F. Budge, 1932, London, Chapman & Hall. 8235	Hydromechanische Probleme des Schiffsantriebs. von G. Kempf & L. Foenster. 1932, Hamburg, Gesellschaft der Freund und Förderer der Hamburgischen Schiffbau-Versuchsanstalt. 1892
(K103. Education) Tokyo Imperial University Calendar 1931-32. 1931, Office of the Secretary of the University Tokyo. P266	3. LIBRES FRANÇAIS. (Y000. Science Militaire) Memorial de l'Artillerie Française. Tome XI 3e fascicule de 1932. 1932, Paris, Imprimerie Nationale. 1483
2. DEUTSCHE BÜCHER. (X400. Wirtschaft) Preisvorbereitung bei Wirtschaftlicher Betriebsführung. von Ed. Michel, 1932, Berlin, Allten G. M. B. H. Verlags- Abteilung. 1871	(Y100. Aéronautique) L'année Aéronautique 1931-1932. par L. Hirschauer et Ch. Dollfus. 1932, Paris, Dunod. 1484
(X600. Wissenschaft) Jahrbuch der Schiffbautechnischen Gesellschaft. 33 Band 1932. 1932, Berlin, Schiffbautechnische Gesellschaft. 1888	(Y300. Diplomatie) La Situation Actuelle en China. Document A. 1932. 1481
Das Bürstenproblem im Elektromaschinenbau. von W. Heinrich, 1930, München, P. Oldenbourg. 1889	Les Relations du Japon avec la Mandchourie et la Mongolie. Document B. 1932. 1482
Wissenschaftliche Veröffentlichungen aus	(Y600. Science) La déviation de la Verticale au Japon. par K. Arai, Tokyo, Rikutō Sokuryōbu. P15

海軍公報

第千八百十號

○ 雜 款

退役海軍軍醫少佐正六位勳四等岡部千之一昨二十
一日東京市世田谷區太子堂町四八一自宅ニ於テ死
去、本日午後二時同所ニテ佛式ニ依リ告別式執行

昭和八年二月二十三日(木)

海軍大臣官房

海軍公報 第千八百十號 昭和八年二月二十三日

一七一

1693

○艦船所在

▲印ハ「ハホ」ヲ指定ヲ要セズ

○二月二十三日午前十時調

【横須賀】

日進、山城、長門、赤城、北上、比叡、木曾、春日、八雲、磐手

樺、椿、野風、波風、汐風、島風、灘風、夕風

伊二三

富士、尻矢、膠州、大和、青島、知床、洲埼

(龍驤)

【長浦】

嚴島、桑、楨、神風、沼風、電、雷、曉、連、狹霧

呂二〇、呂二二、呂五五、呂五四、呂五六、呂五九、呂五七、呂五八、伊一、伊二、伊二四

伊掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

【石川島】

春風

【横濱】

松風

【浦賀】

(子日)

【大湊】

秋風、羽風、太刀風、帆風

【室蘭】

大泊

【吳】

扶桑、矢矧、古鷹、淺間、淀、伊勢、妙高、那智、那珂、長鯨、鬼怒

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、綾波、浦波、敷波、磯波、吹雪、薄雲

呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、呂一九、呂二八、呂二六、呂二七、呂五三、呂五一、呂六五、呂六六、呂六七、伊五、伊二二、伊二一、伊五二、伊五一

掃七、掃八、掃九、掃一〇

劍埼、石廊、攝津、朝日、野島

旗風、朝風

大井

【大阪】

【神戸】

【藤生】

【宇和島】

鳥海、摩耶、愛宕、高雄、青葉、衣笠、加古、神通、球磨

潮、龍、曙、天霧、朝霧、夕霧、深雪、白雪、初雪、白雲、叢雲、東雲

伊五三、伊五四、伊五五、伊五六、伊五七、伊五八

能登呂、鳴戸

【別府】

陸奥、榛名、金剛、日向、阿武隈、山良、名取、夕張、迅鯨、加賀、鳳翔

水無月、阜月、文月、長月、夕月、菊月、三日月、望月、卯月、陸月、如月、彌生、沖風、矢風、澤風、峯風

伊六三、伊五九、伊六〇、伊六七

【南京】	比良 桃、柳	【鎮江】	熱海 裕	【舟山羣島】	天龍 浦風	【上海】	鳥羽、勢多 芙蓉、朝顔	【秦皇島】	常磐	【鎮海】	蓬、蓮、蓼	【宮津】	夕顔、葵、菊	【佐世保】	長良、川内、足柄、羽黑、霧島▲ 夕風、朝風、追風、疾風、呂竹、榎、梨、 栗、梅▲、榆、柿▲ 呂二三、呂二四、呂二五、呂六三、 呂六四、呂六八、呂二九、呂三〇、 呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、 伊六二、伊六一、伊六四	【舞鶴】	吾妻▲ 呂三一	【平城】	白鷹	【伊六五、伊六六】	鶴見、問宮	【燕湖】	伏見 戸樫	【九江】	二見	【大治】	宇治	【漢口】	安宅、對馬	【長沙】	保津、堅田	【馬尾】	五十鈴	【厦門】	吳竹、若竹	【汕頭】	早苗	【廣東】	平戸、多摩、駒橋 早嶽、戸藤、萩、薄、葛、刈萱 神威	【航海中】	董、華、菱 (十五日上海發揚子江外)▲ 襟裳 (十七日馬公發揚子江外)▲ 出雲 (二十日上海發揚子江外)▲ 隱戸 (二十一日橫須賀發揚子江外)▲ 佐多 (二十二日佐世保發揚子江外)▲ 八重山、龍田 (二十二日佐世保發揚子江外)▲ 伊四、伊三 (二十二日長浦發相模灘)▲ 室戸 (二十二日青島發佐世保)▲ 勝力 (二十三日白杵發)
------	-----------	------	---------	--------	----------	------	----------------	-------	----	------	-------	------	--------	-------	--	------	------------	------	----	-----------	-------	------	----------	------	----	------	----	------	-------	------	-------	------	-----	------	-------	------	----	------	----------------------------------	-------	--

(部内限ナシ)

1695

海軍公報

第千八百十一號

海軍大臣官房

昭和八年二月二十四日(金)

○通牒

軍務二第七三號

昭和八年二月二十四日

海軍省軍務局長

吳鎮守府 參謀長殿

第一、第二艦隊

外國船内地不開港場寄港ノ件通牒
外國船内地不開港場寄港出願ニ對シ今般左記ノ通免狀
交付相成候

第六一六號

免狀

- 一 船名 レゾルテ號
- 六 國籍 獨逸
- 一 種類 汽船
- 三 船主氏名及國籍 獨逸ハンブルグ、アメリカ汽船

- 一 船長氏名及國籍 獨逸人エフ、クルーゼ
- 一 總噸數 一九、四六四噸
- 一 寄港ノ目的 觀光
- 一 寄港地名 廣島縣宮島

右不開港場ニ寄港スルコトヲ特許ス

本免狀有效期間ハ昭和八年四月七日ヨリ昭和八年四月九日迄トス但シ必要ノ節ハ同期間内ト雖モ其ノ寄港ヲ差止マルコトアルベシ

昭和八年二月十四日

逓信大臣

(裏面)

航行心得

- 一 本船ハ帝國法令條約ヲ遵守スルハ勿論表面記載ノ港ニ於テ警察規則及各種港則ヲ遵守スベシ
- 二 本免狀ハ何時タリトモ當該官吏ノ求メニ應ジ其ノ検査ヲ受クベシ
- 三 本船ハ本免狀記載ノ目的外ニ使用スベカラズ

海軍公報 第千八百十一號 昭和八年二月二十四日

一七五

1696

- 四 本航行心得ニ違背スルトキハ特許ヲ取消スベシ
- 五 特許期間満了ノトキ又ハ特許ヲ取消サレタルトキハ直ニ本免狀ヲ返納スベシ
- 六 本船ハ出帆前地方應ノ檢閲ヲ受クベシ又陸海軍ニ於テ必要ト認ムルトキハ隨時檢閲スルコトアルベシ

備考 五口市（廣島西方約五哩）ヨリ津久根島、大那沙美島東端及神瀨鼻（西能美島西北端）ヲ連ヌル線以東ニ立入ラザル様示達シアリ

○ 辭令

海軍大佐 佐田 健一
軍艦比叡在役艦タル間同艦長在職中特別俸ヲ賜フ
大島 彦立
横須賀海軍刑務所教誨師囑託ヲ解ク（以上 海軍省）
海軍少佐 湊 乾 助
海軍軍事普及部委員ヲ命ス
海軍屬 安藤 幸吉
同 塚田 福太郎
（各通）

○ 雜款

特命檢閱使附隨從ヲ命ス（三品同）
海軍書記 弘中 正男
海軍書記 田中 徳五郎
第一部第一課附ヲ命ス（三品同）
海軍艦政本部

○ 軍艦鬼怒行動豫定

地名	着	三月	發
吳 田 内	一	二	一
江 山	二	三	二
德 司	四	四	三
門 明	六	五	八
有 伯	九	六	一
佐 明	十二	七	二
安 下	十三	八	三
吳 江	十五	十	五
江 田	十六	十一	六
德 山	十八	十三	八
有 伯	二十	十五	一
佐 明	二十二	十七	三
裁 司	二十四	十九	五
門 明	二十六	廿一	七
裁 司	二十八	廿三	九
門 明	三十	廿五	十一
裁 司	三十一	廿六	十二
江 山	三月一日	三月一日	三月一日

二十七日

三月一

吳門菽佐志德吳佐志門菽德吳
布 布
司 伯志山 伯志司 山

○艦船所在

▲印ハ「ハカリ」
指定ヲ要セズ

○二月二十四日午前十時調

【横須賀】

日進、山城、長門、赤城、北上、比叡、
木曾、春日、八雲、磐手、
櫻、椿、野風、波風、汐風、島風、灘風、
夕風

伊二三

富士、尻矢、膠州、大和、青島、知床、洲埼

(龍驤)

【長浦】

嚴島

桑、楨、神風、沼風、電、雷、曉、
漣、狹霧

呂二〇、呂二一、呂二二、呂五五、
呂五四、呂五六、呂五九、呂五七、
呂五八、伊一、伊二、伊二四

呂六六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

【石川島】

春風

【横濱】

松風

【浦賀】

(子日)

【大湊】

秋風、羽風、太刀風、帆風

【吳】

扶桑、矢矧、古鷹、淺間、淀、伊勢、
妙高、那智、那珂、長鯨、鬼怒、勝力、
江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

綾波、浦波、敷波、磯波、吹雪、薄雲

呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、
呂一九、呂二八、呂二六、呂二七、
呂五三、呂五一、呂六五、呂六六、
呂六七、伊五、伊二二、伊二一、
伊五二、伊五一

掃七、掃八、掃九、掃一〇

劍埼、石廊、攝津、朝日、隱戸

旗風、朝風

大井

神戶

藤生

德山

舞鶴

吾妻

呂三

呂夕顔、葵、菊

(響)

長良、川内、足柄、羽黑、霧島、八重山、
龍田

呂夕風、朝風、追風、疾風、竹、樵、梨、
栗、榊、楡、柿

呂二三、呂二四、呂二五、呂六三、
呂六四、呂六八、呂二九、呂三〇、
呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、
伊六二、伊六一、伊六四

敷島、早瀬

【鎮海】戸蓬、蓮、蓼

【上海】鳥羽、勢多
浦風、戸董、葦、菱

【舟山】天龍
【鎮江】熱海

【南京】比良
桃、柳

【蕪湖】伏見
戸櫻

【九江】二見

【大冶】宇治
【漢口】戸安宅、對馬

【長沙】隅田

【宜昌】堅田

【馬尾】五十鈴

【廈門】戸吳竹、若竹

【汕頭】早苗

【廣東】嶺南
早苗、戸平戸、多摩、常磐、駒橋
薄、葛
神威

【航海中】

【船名】(十七日馬公發)「タラカン」(ハ)

戸出雲 (二十日上海發)「揚子江外」(ハ)

佐多 (二十一日佐世保發)「タラカン」(ハ)

戸伊四、伊三 (二十二日長浦發)「相模灘」(ハ)

室戸 (二十二日青島發)「佐世保」(ハ)

保津 (二十三日宜昌發)「上海」(ハ)

野島 (二十三日吳發)「橫須賀」(ハ)

白鷹 (二十四日平城發)「吳」(ハ)

戸陸奥、戸榛名、金剛、日向、戸阿武隈、山良、名取、

戸夕張、戸迅鯨、戸加賀、鳳翔、戸水無月、阜月、文月、

長月、戸夕月、菊月、三日月、望月、戸卯月、睦月、

如月、彌生、戸沖風、矢風、澤風、春風、戸伊六三、

伊五九、伊六〇、戸伊六七、伊六五、伊六六、

鶴見、間宮 (二十四日別府發)「佐伯」(ハ)

戸島海、摩耶、愛宕、高雄、戸青葉、衣笠、加古、

戸神通、戸球磨、戸潮、戸天霧、朝霧、夕霧、

戸深雪、白雲、初雪、戸白雲、叢雲、東雲、戸伊五三、

伊五四、伊五五、戸伊五六、伊五七、伊五八、

能登呂 (二十四日宇和島發)「佐伯」(ハ)

大泊 (二十四日室蘭發)「大湊」(ハ)

海軍公報

第千八百十二號

昭和八年二月二十五日(土)

海軍大臣官房

○雜款

○特務艦洲崎行動豫定

地名 着

三月 發

横須賀

德山

三月十二日

廣

吳

横須賀

三月十四日

三月十九日

三月二十四日

三月二十五日

三月二十六日

三月二十七日

三月二十八日

三月二十九日

三月三十日

三月三十一日

三月三十二日

三月三十三日

三月三十四日

三月三十五日

三月三十六日

三月三十七日

三月三十八日

三月三十九日

三月四十日

三月四十一日

三月四十二日

三月四十三日

三月四十四日

三月四十五日

○海軍航空本部監督官異動

出張

職

官

氏

名

三月八日迄ニ到達見込ノモノハ横須賀
同十三日迄ニ同 德山
同十八日迄ニ同 廣
同二十日迄ニ同 吳
其ノ後ハ 横須賀

東京

海軍航空本部出仕
兼造兵監督官

海軍造兵少佐 戸祭圭太郎

海軍公報 第千八百十二號

昭和八年二月二十五日

一八一

1701

○艦船所在

▲印「ハ」ホ「フ」
指定ヲ要セズ

○二月二十五日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城、長門、赤城、北上、比叡、
木曾、春日、▽八雲、磐手
櫻、椿、野風、波風、▽汐風、島風、灘風、
夕風

伊二三

富士▲、尻矢、膠州、大和、青島、洲崎

(龍驤)

【長浦】

嚴島

桑、楨、▽神風、沼風、▽電、雷、▽曉、
漣、狹霧

呂二〇、呂二一、呂二二、▽呂五五、

呂五四、呂五六、▽呂五九、呂五七、

呂五八、▽伊一、伊二、▽伊四、伊三、

▽伊二四

▽掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

【石川島】

春風▲

【横濱】

松風▲

【浦賀】

(子日)

【大湊】

▽秋風、羽風、太刀風、帆風

大泊

【吳】

扶桑▲、矢矧、古鷹、淺間、淀、伊勢、

妙高、那智、那珂、長鯨、鬼怒、勝力、
韓崎、白鷹

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

▽綾波、浦波、敷波、▽磯波、吹雪、薄雲▲

呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、

呂一九、▽呂二八、呂二六、呂二七、

▽呂五三、呂五一、▽呂六五、呂六六、

呂六七、伊五、▽伊二二、伊二一、

▽伊五二、伊五一

掃七、掃八、掃九、掃一〇

劍崎、石廊、攝津、朝日、隱戶

【大阪】

旗風▲、朝風▲

【神戸】

大井▲

【細島】

澤風

【別府】

陸奥、▽榛名、金剛、日向、▽阿武隈、

由良、名取、▽夕張、▽迅鯨、▽加賀、

鳳翔、▽島海、摩耶、愛宕、高雄、▽青葉、

衣笠、加古、▽神通、▽球磨

▽永無月、皋月、文月、長月、▽夕月、菊月、

三日月、望月、▽卯月、睦月、如月、彌生、

▽沖風、矢風、峯風、▽潮、臘、曙、▽天霧、

朝霧、夕霧、▽深雪、白雪、初雪、▽白雲、

叢雲、東雲

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊六七、

伊六五、伊六六、▽伊五三、伊五四、

【舞鶴】

伊五五、伊五六、伊五七、伊五八
鶴見、間宮、能登呂、鳴戸

【吾妻】
伊夕顔、葵、菊

【呂三】

【響】

【佐世保】 長良、川内、足柄、羽黒、霧島、八重山、
龍田

伊夕風、朝風、追風、疾風、伊竹、榎、梨、

伊栗、榎、榆、柿

呂二三、呂二四、呂二五、呂六三、

呂六四、呂六八、呂二九、呂三〇、

呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、

伊六二、伊六一、伊六四

敷島、早鞆、室戸

【鎮海】 伊蓬、蓮、蓼

【上海】 鳥羽、勢多

浦風、伊董、草、菱

【鎮江】

檜

【南京】

比良

【燕湖】

桃、柳

【九江】

二見

【大治】

宇治、
漢口、安宅、對馬

【長沙】

岡田

【宜昌】

堅田

【馬尾】

五十鈴

【厦門】

伊吳竹、若竹

【汕頭】

早苗

【廣東】

鯉、鰻

【作業地】

平戸、多摩、常磐、駒橋

【航海中】

早蕨、伊芙蓉、朝顔、刈萱、伊藤、萩、
薄、葛、
神威

【襟裳】

（十七日馬公發「タラカン」へ）

【佐多】

（二十日上海發「揚子江外」へ）

【保津】

（二十一日佐世保發「タラカン」へ）

【野島】

（二十三日宜昌發「上海」へ）

【天龍】

（二十三日吳發「横須賀」へ）

【知床】

（二十四日舟山發「上海」へ）

【横須賀】

（二十四日横須賀發「吳」へ）

（部内限二頁）

1703

海軍公報

第千八百十三號

海軍大臣官房

昭和八年二月二十七日(月)

○通牒

軍務二第七四號

昭和八年二月二十七日

海軍省軍務局長

吳鎮守府 參謀長殿
第一、第二艦隊

外國船内地不開港場寄港ノ件通牒

外國船内地不開港場寄港出願ニ對シ今般左記ノ通免狀
交付相成候

第一一四號

免狀

一 船名 フレシデント、ジョンソン

一 國籍 米國

一 種類 汽船

一 船主氏名及國籍 米國 グラウ汽船會社

一 船長氏名及國籍 米國人 ダブリュー、オ、

一 船主氏名及國籍 米國人 コーブル、マイスター

一 總噸數 一五、五四三噸

一 寄港ノ目的 觀光

一 寄港地 名 廣島縣宮島

右不開港場ニ寄港スルコトヲ特許ス

本免狀有効期間ハ昭和八年五月四日ヨリ昭和八年五

月六日迄トス但シ必要ノ節ハ同期間内ト雖モ其ノ寄

港ヲ差止ムルコトアルベシ

昭和八年二月十四日

遞信大臣

(裏面)

航行心得

一 本船ハ帝國法令條約ヲ遵守スルハ勿論表面記載ノ
港ニ於テ警察規則及各種港則ヲ遵守スベシ

二 本免狀ハ何時タリトモ當該官吏ノ求メニ應ジ其ノ
検査ヲ受クベシ

三 本船ハ本免狀記載ノ目的外ニ使用スベカラズ

四 本航行心得ニ違背スルトキハ特許ヲ取消スベシ

海軍公報 第千八百十三號 昭和八年二月二十七日

一八五

1704

五 特許期間満了ノトキ又ハ特許ヲ取消サレタルトキハ直ニ本免狀ヲ返納スベシ
六 本船ハ出帆前地方廳ノ檢閲ヲ受クベシ又陸海軍ニ於テ必要ト認ムルトキハ隨時檢閲スルコトアルベシ
備考 五日市(廣島西方約五哩)ヨリ津久根島、大那沙美島東端及神禰鼻(西能美島西北端)ヲ連スル線以東ニ立入ラザル様示達シアリ

第二一五號

免 狀
一 船 名 ビクソン號
一 國 籍 英國
一 種 類 帆船
一 船主氏名及國籍 英國人ゼ、エフ、ドラモンド
一 船長氏名及國籍 同上
一 噸 數 三 噸
一 網具ノ裝置 スルーフ
一 橋 ノ 數 一 本
一 寄航ノ目的 娛樂
一 航 路 大阪灣ヨリ瀬戸内海ヲ經テ大分縣ニ至ル各海岸

一 寄 港 地 名
兵庫縣 志筑、假屋、岩屋、那家、野島、富島、江井、新在家、西宮、住吉、須磨、舞子、明石、高砂、飾磨、室津、那波、阪越、坊勢島、家島、西島
大阪府 堺、岸和田、佐野、貝塚
岡山縣 日生、片上、長島、牛窓、岡山、宇野、日比、下津井、犬島、長尾、鹿久居島、大多府島、黑崎、笠岡、真鍋島、北木島、白石島、福島
香川縣 小豆島、志度、坂出、多度津、高松、栗島、引田、松原、三本松、津田、屋島、吉高松、香西、下笠居、安戶、小田、瀧元
廣島縣 福山、鞆、松永、百島、因ノ島、瀬戸田、川尻、宮島、犬崎上島、犬崎下島
愛媛縣 新居濱、岩城島、伯方島、大島、三津ヶ濱
山口縣

1705

上ノ關、室津、三田尻、中ノ關、屋代島

大分縣、別府、守江、姫島

但シ軍港要港規則又ハ要塞地帶法ニ依リ禁止又ハ制限セラレタル地域ヲ除ク

右不開港場ニ寄港スルコトヲ特許ス

本免狀有效期間ハ昭和八年二月十四日ヨリ昭和八年十二月三十一日迄トス但シ必要ノ節ハ同期間内ト雖モ其ノ寄港ヲ差止ムルコトアルベシ

昭和八年二月十六日

遞信大臣

(裏面)

航行心得

一 本船ハ帝國法令條約ヲ遵守スルハ勿論表面記載ノ各港ニ於テ警察規則及各種港則ヲ遵守スベシ

二 本免狀ハ何時タリトモ當該官吏ノ求メニ應ジ其ノ検査ヲ受クベシ

三 本船ハ本免狀記載ノ目的外ニ使用スベカラズ殊ニ表面記載ノ各港間ニ於テ貨物旅客ノ運搬ヲ爲スベカラズ

四 每航行ニ於ケル巡航日時ヲ豫定シ就航前本船所有者ノ住所ヲ管轄スル地方長官ニ届出ヅベシ巡航日時ヲ著シク變更シタルトキ亦同ジ

時ヲ著シク變更シタルトキ亦同ジ

五 每航行ニ於ケル就航前本船船員及船員以外ノ乗船者ノ氏名、國籍、住所及職業ヲ前項ノ地方長官ニ届出ヅベシ

六 本免狀ニ記載セル船長ヲ變更セムトスルトキ又ハ船長以外ノ者ヲシテ其ノ職ヲ執ラシメムトスルトキハ豫メ第四項ノ地方長官ニ届出ヅベシ

七 瀬戸内海ノ航行ニ付テハ大阪府佐野ト兵庫縣洲本、兵庫縣佛崎ト徳島縣栗田、愛媛縣長濱ト大分縣鶴崎、山口縣埴生ト福岡縣荒尾ト結ブ線外ヲ航行スベカラズ

八 廣島附近ノ海面ニ付テハ五日市、津久根島及西能美島ノ西北端ヲ連スル線以東ニ立入り且早瀬及菅戸ノ兩水道ヲ通過スベカラズ

九 本航行心得ニ違背シタルトキハ直ニ特許ヲ取消スベシ

一〇 特許期間満了ノトキ又ハ特許ヲ取消サレタルトキハ直ニ第四項ノ地方長官ヲ通ジ本免狀ヲ返納スベシ

二 本船ハ出帆前地方廳ノ檢閲ヲ受クベシ又陸海軍ニ於テ必要ト認ムルトキハ隨時檢閲スルコトアルベシ

○ 辭 令

依願免本官(二十七日海軍省)
海軍技手 石 黒 辰 雄

○ 雜 款

海軍少佐從六位勳六等福森義雄昨二十六日豊後水道ニ於テ飛行訓練中殉職、本二十七日午後二時佐伯泊軍艦鳳翔ニテ佛式ニ依リ海軍葬儀執行

豫備役海軍大佐正五位勳三等野村與一昨二十五日卒去、昨二十六日金澤市野田寺町一ノ五三自宅ニ於テ葬儀執行

退役海軍水路大佐從四位勳三等大後五郎一昨二十五日卒去、明二十八日午後一時ヨリ二時迄東京市世田谷區北澤二ノ一六五自宅ニ於テ神式ニ依リ告別式執行

○艦船所在

▲印ハ「ハカ」ヲ
指定ヲ要セズ

○二月二十七日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城、長門、赤城、北上、比叡、

木曾、春日、八雲、磐手

樺、椿、野風、波風、沙風、島風、灘風、

夕風

伊二三

富士▲、尻矢、膠州、大和、青島、洲崎

(龍驤)

【長浦】

嚴島

桑、楨、神風、沼風、電、雷、曉、

漣、狹霧

呂二〇、呂二一、呂二二、呂五五、

呂五四、呂五六、呂五九、呂五七、

呂五八、伊一、伊二、伊四、伊三、

伊二四

掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

【石川島】

春風▲

【横濱】

松風▲

【浦賀】

(子日)

【大湊】

秋風、羽風、太刀風、帆風

【吳】

扶桑▲、矢矧、古鷹、淺間、淀、伊勢、

妙高、那智、那珂、長鯨、鬼怒、勝力、

韓崎、白鰐

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

綾波、浦波、敷波、磯波、吹雪、薄雲▲

呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、

呂一九、呂二八、呂二六、呂二七、

呂五三、呂五一、呂六五、呂六六、

呂六七、伊五、伊二二、伊二一、

伊五二、伊五一

掃七、掃八、掃九、掃一〇

劍崎、石廊、攝津、朝日、隱戸

【大阪】

旗風▲、朝風▲

【神戸】

大井▲

【細島】

澤風

【別府】

陸奥、榛名、金剛、日向、阿武隈、

由良、名取、夕張、迅鯨、加賀、

鳳翔、鳥海、摩耶、愛宕、高雄、青葉、

衣笠、加古、神通

水無月、早月、文月、長月、夕月、菊月、

三月月、望月、卯月、睦月、如月、彌生、

沖風、矢風、峯風、潮、朧、天霧、

朝霧、夕霧、深雪、白雪、初雪、白雲、

叢雲、東雲

伊六三、伊五九、伊六〇、伊六七、

伊六五、伊六六

【舞鶴】鶴見、間宮、能登呂
吾妻▲

呂夕顔、葵、菊

呂三

(響)

【佐世保】長良、川内▲、足柄、羽黒、霧島▲、八重山、

龍田

呂夕風、朝風、追風、疾風、呂竹、樵、梨、

呂栗、梅▲、榆、柿▲

呂二三、呂二四、呂二五、呂六三、

呂六四、呂六八、呂二九、呂三〇、

呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、

伊六二、伊六一、伊六四

敷島▲、早瀬、室戸

【鎮海】呂蓬、蓮、蓼

【上海】呂出雲、天龍、鳥羽、勢多

浦風、呂董、葦、菱

【鎮江】熱海

【南京】比良

呂櫻、桃、柳、檜

【燕湖】伏見

【九江】二見

【大治】字治

漢口▲、安宅、對馬

長沙、隅田

【宜昌】壁田

【馬尾】五十鈴

【厦門】呂吳竹、若竹

【汕頭】早苗

【廣東】蟻峨

【作業地】平戸、多摩、常磐、駒橋

早嶽、呂芙蓉、朝顔、刈萱、呂藤、萩、

薄、菖

神威

【航海中】

襟裳 (十七日馬公發)「タラカン」へ)

佐多 (二十一日佐世保發)「タラカン」へ)

保津 (二十三日宜昌發)「上海」へ)

知床 (二十四日横須賀發)「吳」へ)

野島 (二十六日横須賀發)「吳」へ)

球磨、呂伊五三、伊五四、伊五五、呂伊五六、

伊五七、伊五八 (二十七日佐伯發)「小松島」へ)

鳴戸 (二十七日佐伯發)「吳」へ)

(部内限二頁、同附録三頁)

海軍公報

第千八百十四號

昭和八年二月二十八日(火)

海軍大臣官房

○通牒

經給第一五號

昭和八年二月二十五日

海軍省經理局

關係各廳御中

職工轉備ノ際家族移轉料ニ關スル件通牒

今般達第五號ヲ以テ海軍工務規則中改正相成候ニ付テハ首題ニ關シテハ左記各號ニ依ル義ト承知相成度

記

一、昭和六年官房第一四二二號ノ二横須賀田浦間家族移轉料不給ノ件ハ適用

二、昭和三年官房第二四一號ノ二認許吳廣間移轉料支給ノ件ハ自然消滅

○辭令

○雜款

第一課勤務ヲ命ス(三吉海軍省經理局)

海軍主計少佐堀直江

○出發

英國駐在 海軍大尉 入江 壽直 三月二日東京發 舊崎丸

○國際聯盟新嘉坡保健部東局傳染病週報(自二月十八日)

大 阪	上 海	香 港	廣 東	ベ ス ト		コ レ ラ		瘡 痘
				患者死者	有留	患者死者	患者死者	
								輸入一
								一七六
								四五二六
								八六一

海軍公報 第千八百十四號

昭和八年二月二十八日

一九二

1710

1711

○艦船所在

△印ハハホノ
指定ヲ要セズ

○三月二十八日午前十時調

【横須賀】

日進、山城、長門、赤城、北上、比叡、

木曾、春日、八雲、磐手、

樺、椿、野風、波風、沙風、島風、灘風、

夕風、

伊二三

富士、尻矢、膠州、大和、洲崎、

(龍驤)

【長浦】

嚴島

桑、模、神風、沼風、電、雷、曉、

漣、狹霧

呂二〇、呂二一、呂二二、呂五五、

呂五四、呂五六、呂五九、呂五七、

呂五八、伊一、伊二、伊四、伊三、

伊二四

掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

【石川島】

春風

【横濱】

松風

【浦賀】

(春日)

【大湊】

秋風、羽風、太刀風、帆風

大泊

【吳】

扶桑、矢矧、古鷹、淺間、淀、伊勢、

妙高、那智、那珂、長鯨、鬼怒、勝力、

韓崎、白鷹

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

綾波、浦波、敷波、磯波、吹雪、薄雲、

呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、

呂一九、呂二八、呂二六、呂二七、

呂五三、呂五一、呂六五、呂六六、

呂六七、伊五、伊二二、伊二一、

伊五二、伊五一、

掃七、掃八、掃九、掃一〇、

劍崎、石廊、攝津、朝日、隱戶、知床、

鳴戸

【大阪】

旗風、朝風

【神戸】

大井

【細島】

澤風

【別府】

陸奥、榛名、金剛、日向、阿武隈、

由良、名取、夕張、迅鯨、加賀、

鳳翔

水無月、皐月、文月、長月、夕月、菊月、

三日月、望月、卯月、陸月、如月、彌生、

沖風、矢風、峯風

伊六三、伊五九、伊六〇、伊六七、

伊六五、伊六六

【小松島】

鳥海、摩耶、愛宕、高雄、青葉、衣笠、

加古、神通、球磨

【潮】臘、曙、天霧、朝霧、夕霧、深雪、
白雪、初雪、白雲、叢雲、東雲
伊五三、伊五四、伊五五

【八幡濱】能登呂
【舞鶴】吾妻

呂三、夕顔、葵、菊

（響）

【佐世保】長良、川内、足柄、羽黑、霧島、八重山、
龍田

呂夕風、朝風、追風、疾風、竹、榎、梨、

栗、梅、榆、柿

呂二三、呂二四、呂二五、呂六三、

呂六四、呂六八、呂二九、呂三〇、

呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、

伊六二、伊六一、伊六四

敷島、早鞆、室戸

（初春）

【鎮海】蓬、蓮、蓼

【上海】雲、天龍、鳥羽、勢多

浦風、葦、葦、葦

【鎮江】熱海

【南京】比良

櫻、桃、柳、桧

【蕪湖】伏見

【九江】二見

【大冶】宇治

【漢口】安宅、對馬

【長沙】岡田

【宜昌】堅田

【馬尾】五十鈴

【厦門】吳竹、若竹

【汕頭】早苗

【廣東】蟻蛾

【作業地】平戸、多摩、常磐、駒橋

早嶺、芙蓉、朝顔、刈萱、藤、萩、

薄、葛

神威

【航海中】

襟裳（十七日馬公發「タラカン」へ）

佐多（二十一日佐世保發「タラカン」へ）

保津（二十三日宜昌發「上海」へ）

野島（二十六日横須賀發「吳」へ）

青島（二十七日横須賀發「吳」へ）

伊五六、伊五七、伊五八（二十八日宿毛發「小松

島」へ）

鶴見（二十八日佐伯發「徳山」へ）

海軍公報

第千八百十五號

昭和八年三月一日(水)

海軍大臣官房

○辭令

海軍大佐 石原 戒造

海軍艦政本部ニ於ケル事變關係造船兵業務ヲ囑託
シ報酬月額九拾七圓ヲ給ス

正五位勳四等 増田 全吾

海軍艦政本部ニ於ケル事變關係造船兵業務ヲ囑託ス

但報酬月額百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

正五位勳四等 門 繁雄

吳海軍工廠ニ於ケル事變關係造船機業務ヲ囑託ス

但報酬月額百貳拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

(以上 三十八日 海軍省)

九拾五圓 從五位勳四等 木村 春吉

(各通) 八拾五圓 溝口 三雄

横須賀海軍工廠ニ於ケル事變關係造船業務ヲ囑託ス

但報酬月額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

退トス

海軍大佐 吉成格四郎

吳海軍工廠ニ於ケル事變關係造船業務ヲ囑託シ報酬
月額九拾七圓ヲ給ス

河合 次男

吳海軍工廠ニ於ケル事變關係電氣業務ヲ囑託ス

但報酬月額八拾五圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

(以上 三十八日 同)

○雜款

○驅逐艦進水

佐世保海軍工廠ニ於テ建造ノ驅逐艦初春去月二十七日
午前十時進水セリ

○司令潜水艦變更

第六潜水隊司令ハ本一日司令潜水艦ヲ呂號第五十九潜
水艦ヨリ呂號第五十七潜水艦ニ變更セリ

○考試問題發送

第三十三期高等科學生採用考試問題(試驗期日昭和八

海軍公報 第千八百十五號 昭和八年三月一日

一九五

1714

年四月一日、二日ノ兩日）去月二十七日發送済ニ付未
着ノ向ハ至急御通知ヲ得度
（海軍砲術學校）

○印刷物配付ノ件通知

昨年七月七日附海軍公報掲載ノ當隊海軍技手福田平吉
編纂ニ係ル「増補改訂天氣豫察法」豫約募集ノ件ハ製
本者ノ事故ニ依リ配布期限甚ダシク遷延中ノ處漸ク完
成配布ノ運ト相成候ニ付乍御手数注文者各位ニ配布方
御配慮ヲ得度

追テ代金ハ壹部金四拾九錢ニ付各應取纏メノ上當隊
副官宛御送付ヲ得度
（佐世保海軍航空隊）

豫備役海軍中佐從五位勳三等太田文次去月二十七
日卒去、本一日午前十時ヨリ十一時迄東京市牛込
區横寺町四三大信寺ニ於テ告別式執行

艦船所在

△印ハハカリノ
指定ヲ要セズ

○三月一日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城、長門、赤城、北上、比叡、

本會、春日、P八雲、磐手

櫻、椿、野風、波風、P沙風、島風、灘風、

夕風

伊二三

富士▲、尻矢、膠州、大和、洲埼

(龍驤)

【長浦】

嚴島

桑、楨、P神風、沼風、P電、雷、P曉、

漣、狹霧

呂二〇、呂二一、呂二二、P呂五五、

呂五四、呂五六、P呂五七、呂五八、

呂五九、P伊一、伊二、P伊四、伊三、

P伊二四

P掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

【石川島】

春風▲

【横濱】

P松風▲

【浦賀】

(子日)

【大湊】

秋風、羽風、太刀風、帆風

【吳】

扶桑▲、矢矧、古鷹、淺間、淀、伊勢、

妙高、那智、那珂、長鯨、鬼怒、勝力、
韓崎、白鷹

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

P綾波、浦波、敷波、P磯波、吹雪、薄雲▲

呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、

呂一九、P呂二八、呂二六、呂二七、

P呂五三、呂五一、P呂六五、呂六六、

呂六七、伊五、P伊二二、伊二一、

P伊五二、伊五一

掃七、掃八、掃九、掃一〇

劍埼、石廊、攝津、朝日、隱戶、知床、

鳴戸、野島

【大阪】

旗風▲、朝風▲

【神戸】

大井

【小松島】

島海、摩耶、愛宕、高雄、P青葉、衣笠、

加古、P神通、P球磨

P潮、鰐、曙、P天霧、朝霧、夕霧、P深雪、

白雪、初雪、P自雲、叢雲、東雲

P伊五三、伊五四、伊五五、P伊五六、

P伊五七、伊五八

【徳山】

鶴見

【八幡濱】

能登呂

【別府】

陸奥、P榛名、金剛、日向、P阿武隈、

由良、名取、P夕張、P迅鯨

P水無月、皐月、文月、長月、P夕月、菊月、

三日月、望月、巳卯月、睦月、如月、彌生、
巳伊六三、伊五九、伊六〇、巳伊六七、
伊六五、伊六六
間宮
【細島】 澤風
【舞鶴】 吾妻▲

巳夕顔、葵、菊
呂三一
(響)

【佐世保】 長良、川内▲、足柄、羽黑、霧島▲、八重山、

龍田

巳夕風、朝風、追風、疾風、巳竹、樺、梨、
巳栗、梅▲、榆、柿▲

呂二三、呂二四、呂二五、巳呂六三、

呂六四、呂六八、巳呂二九、呂三〇、

呂三二、巳呂六〇、呂六一、呂六二、

巳伊六二、伊六一、伊六四

敷島▲、早瀬、室戸

(初春)

【鎮海】 蓬、蓮、蓼

【上海】 巳山雲、天龍、鳥羽、勢多

浦風、巳菫、葦、薔

【鎮江】 熱海

【南京】 比良

巳櫻、桃、柳、檜

【蕪湖】 伏見

【九江】 二見

【大冶】 宇治

【漢口】 ▲安宅、對馬

【長沙】 隅田

【宜昌】 堅田

【馬尾】 五十鈴

【厦門】 巳吳竹、若竹

【汕頭】 早苗

【廣東】 蟻蛾

【作業地】 ▲平戸、多摩、常磐、駒橋

早蕨、巳芙蓉、朝顔、刈萱、巳藤、萩、

薄、葛

神威

【航海中】

襟裳 (二月十七日馬公發)「タラカン」(へ)

佐多 (二月二十一日佐世保發)「タラカン」(へ)

保津 (二月二十三日宜昌發)「上海」(へ)

青島 (二月二十七日橫須賀發)「吳」(へ)

▲加賀、巳沖風 (一日佐伯發)「細島」(へ)

鳳翔、峯風、矢風 (一日佐伯發)「宿毛」(へ)

(部内限一頁、同附錄一冊)

1717

海軍公報

第千八百十六號

昭和八年三月二日(木)

海軍大臣官房

○令達

官房第八九四號ノ二

昭和八年三月二日

海軍大臣

在京親任官殿
同待遇

皇后陛下御誕辰ニ關スル件通牒

來六日皇后陛下御誕辰ニ付拜賀ノ爲夫人同伴同日午前
十時四十分參内相成度

服裝 禮裝 勳章記章全部佩用

夫人ハ通常服又ハ袴袴着用ノ事

尙當日酒饌下賜相成候

○通牒

官房第八九六號

昭和八年三月二日

海軍省副官

海軍諸例
則登載

關係各廳長殿

各國禮砲答砲施行箇所ニ關スル件通牒

大正十一年官房第二二五五號通牒各國禮砲答砲施行箇
所ニ覽表中左記ノ通變更有之候條御了知相成度

記

Argentina ノ部中

Buenos Ayres 北港ノ南方砲臺 ヲ削ル

Peru ノ部ノ次ノ

Poland 軍港入口ニ砲臺セル
練習艦「バルチック」
ヲ加不

Portugal ノ部中

Cape Verde St. Vincent El Yagui 要塞(當
分ノ間禮砲ヲ發 ヲ削ル
射セズ)

United States of America

大西洋及墨西哥灣沿岸ノ部

海軍公報 第千八百十六號 昭和八年三月二日

二九九

1718

1719

艦船所在

▲印「ハホ」
指定ヲ要セズ

○三月二日午前十時調

【横須賀】

日進▲山城▲長門、赤城、北上、比叡、木曾、春日、八雲、磐手、櫻、椿、野風、波風、沙風、島風、灘風、夕風、漣、狭霧

【伊二三】

富士▲、尻矢、膠州▲、大和、洲埼

【長浦】

(龍驤) 嚴島

桑、楨、神風、沼風、電、雷、曉、呂二〇、呂二一、呂二二、呂五五、呂五四、呂五六、呂五七、呂五八、呂五九、伊一、伊二、伊四、伊三、掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

【石川島】

春風▲

【横濱】

松風▲

【浦賀】

(子日)

大湊、秋風、羽風、太刀風、帆風

【吳】

扶桑、矢矧、古鷹、淺間、淀、伊勢、妙高、那智、那珂、長鯨、勝力、白鷹、江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風

綾波、浦波、敷波、磯波、吹雪、薄雲▲

呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、呂一九、呂二八、呂二六、呂二七、呂五三、呂五一、呂六五、呂六六、呂六七、伊五、伊二二、伊二一、伊五二

掃七、掃八、掃九、掃一〇、劍埼、石廊、攝津、朝日、隱戶、鳴戸、青島

【大阪】

旗風▲朝風▲

【神戸】

大井

【江田内】

鬼怒

【小松島】

鳥海、摩耶、愛宕、高雄、青葉、衣笠、加古、神通、球磨

潮、朧、曙、天霧、朝霧、夕霧、深雪、白雪、初雪、白雲、叢雲、東雲、伊五三、伊五四、伊五五、伊五六、伊五七、伊五八

【徳山】

鶴見

【宿毛】

鳳翔

【佐伯】

峯風、矢風

陸奥、榛名、金剛、日向、阿武隈、由良、名取、夕張、迅鯨、水無月、皐月、文月、長月、夕月、菊月、三日月、望月、卯月、睦月、如月、彌生

安宅、對馬

能登呂、二日八幡浮磯、一佐伯へ